

# 南 国 市 民 報

昭和44年 5 月25日  
 編集発行  
 南 国 市 広 報 委 員 会  
 事 務 所  
 高 知 県 南 国 市 役 所 内  
 (電 42111)  
 印 刷 川 北 印 刷 株 式 会 社  
 (電 43151 ・ 有 線 155-11)



市民生活を豊にするため  
 職場を開発しよう!!

期にあるといえる。▼小・中学校の統廃合によつて、久礼田には数物工場が、前浜には縫製工場が数でに操業しており、久枝に銃砲工業が地元の人たちによつて誘致されようとしている。都築紡績もいよいよ来年操業のため用地造成へと乗り出し、農業立市の理念は、工業との共存による田園産業都市としての様相を呈してきた。自然を生かし、人口の集るまちになりたいものだ。



いた農家人口は次第に減少し、他に職場を求めた人たちの多い昨今、工場誘致は真剣に考え対処してゆかなければならない時期にあるといえる。

地方自治体の大きな悩みに人口の過疎問題がある。わが南国市もその例にもれず、人口の流出はしばらく続いていたが、二、三年ほど前からじょじょに人口増の現象を示している。▼といっても、市の中心部への人口集中が目立ち、反面山間部のそれは下降線をたどっている。このような人口の流出を防ぐためには、市民の誰もが働ける場をつくり、与えることが大切である。▼人口の大半を占めて

### 市のうごき (4月末現在)

転入	543	転出	439
出生	50	死亡	29
人口	43,131人		
	(男 21,302人)		
	(女 21,829人)		
世帯数	11,940戸		